

うたごよみ 文 月

包む

待ち侘びし金環食は遂に来て自然の神秘列島

短 歌

和む 部屋中に飾る「まつり花」芳しく淡紫に心は 明美

吹き渡るはつ夏の風心地好く眼閉じれば卯の

苗代の箱を並べて水張れば雨呼ぶごとく蛙き

花匂う

赤星

延子

て鳴く

塚原

暁益

老いわれの誕生祝う子ども等の催し嬉し今日

は良き日ぞ 本田冨美子

初曾孫愛しや愛し長旅にめげず元気で愛嬌ふ りまく 松本ぬい子

爽やかな皐月の風の木下で子等と集いてバー 森田 房恵

忘れ置かるる 内田乃武子

友らとの会話で元気出るらしく付きて来し杖

とつ 朝夕に仏に祈るわが思い子や孫たちの幸せひ 井上ユリ子

列島を天文ショーが魅了する吾も撮りたし金 汀を描く 昨夜の雨に咲き満つ梅の花散らし庭の小道に 上村 かず

菓子箱が無理な相談持って来る

渡辺

幸士

渡辺幸士 選

よ」真顔で話すおませな幼児 八十年生きの証のアルバムに笑みと悲しみ在

るを仕分けす

渡辺

幸士

[川柳]

渡辺幸士 選

病院

病院と良く付き合って百までも 退院日暦に印付けて待つ 病院の待合室は同じ顔 相部屋の患者百年の友となる お見舞に行きたいけれど足竦む 布田 松本ぬい子 古閑チヨミ 北 愛子 仁子

「菓子」

患者の気分悪いか深夜窓灯り

丸岡はる子

呑べえも菓子に眼の無い歳になる お菓子食ベダイエット中思い出す 菓子折れが楽しい話連れて来る 来客の菓子の土産に孫笑顔 楠井カヲル 伊豆野ヤエ 緒方 林 瑞枝 雅之

■お問い合わせ先 234 町教育委員会公民館事務局 $\begin{array}{c} 1\\2\\4\\4\\7\end{array}$ (内線321)

環食を

吉永由紀子

上村やす美

「あたしがねちょうじょでこのこいもうと

内山タミエ